



# おおむら通信

平成 26 年 3 月 第 4 号  
発行者：大村卓司 市政事務所  
住 所：茨木市西太田町 5-24  
T E L：072 - 627 - 7116  
F A X：072 - 623 - 4900



## 茨木市平成 26 年 3 月定例会 開催

茨木市平成 26 年 3 月定例会が、3 日から 26 日まで開催されました。

5 日の、市長の 26 年度施政方針に対し、公明党を代表し青木議員が、市政全般にわたり 113 項目の質問（『選ばれる』まちづくり、行財政改革、人事行政、文化振興やスポーツ推進、市民と協働のまちづくり、地域福祉や地域ケアの取り組み、生活困窮者支援、障がい者雇用、介護基盤整備、高齢者福祉、市民の健康、人権・男女共同参画、非核平和の取り組み、子育て支援、保育所や学童保育事業の充実、母子健康の充実、産業や農業の活性化、駅周辺の整備や通学路対策等の都市基盤の充実、防災・減災の拡充、学力アップやいじめ防止など）を行いました。

また、新年度一般会計予算に対し、私も、以下の質疑を行うとともに、4 つの常任委員会において、各所属の公明党議員が、活発に質疑を行いました。

- ・国土強靱化計画等の防災・減災の取り組み
- ・住宅や市所有建物の耐震化について
- ・消防活動の現状
- ・消防団組織の活動と充実



### 建設常任委員会に要望

#### 自転車環境の整備

自転車専用車線の設置や、自転車レーンのカラー舗装等、自転車環境の整備を要望。

JR 新駅東側府道に、歩道橋の設置を要望

### 公明党市民相談受付

月曜日から金曜日

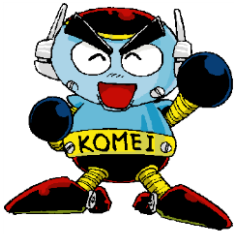
10時から17時

大村卓司の当番日が、前年度の

木曜日より **水曜日** に変更にな

っております。

ご相談等、お気軽にお立ち寄り下さい。



©NEW KOMEI TO

# 施策の拡充を実現

公明党市議団が推進し、平成26年度予算で拡充される主な施策は以下の通りです。

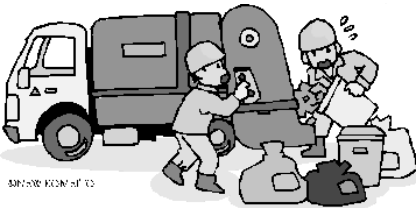
## 福祉サービスの充実

- 臨時福祉給付金を支給  
市民税非課税者 1万円  
老齢・障害年金受給者 1.5万円
- 老人クラブが運営するいきいき交流広場を新設（モデル実施10か所）
- 街角デイハウスを拡充  
12か所→17か所
- 要支援（要介護3以上）高齢者や障がい者のごみの戸別収集
- 生活困窮者自立のための相談支援事業



## 健康・医療の充実

- 妊婦健診の助成を充実  
7万円→9万円
- 妊婦歯科検診を実施
- 胃がんリスク検診の対象者を拡充  
70歳を追加
- 国民健康被保険者の特定健診を無料化
- 市内二次救急病院受入れへ補助
- 子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン再発行



## 防災・環境・都市整備

- JR茨木駅構内にエスカレーターを設置
- 立命館大学との市民開放施設や周辺整備

## 子育て支援の充実

- 私立保育園の新設による定員増  
平成27年4月に90人の定員増
- 待機児童保育室を開設
- 保育園・幼稚園・学童保育の緊急メール配信システムを構築
- 子育て世帯臨時特例給付金を支給  
児童手当対象者1人につき1万円

## 教育の充実

- 小学校スクールカウンセラー相談支援員を充実 22校から全32校
- 保幼小中連携教育推進の支援教員を配置
- 学校図書館支援員を全校に配置

